

白山市立蕪城小学校

校長だより

No. 16

令和7年度 1月28日



学校教育目標

自ら学び、心豊かで、たくましい児童の育成

～ みんなが元気 みんなで前進 ～

めざす児童像

「自ら考え、自ら学ぶ子」

「やさしく思いやりのある子」

「たくましい子」

毎日の給食に感謝！全国学校給食週間！

毎年、1月24日～30日までの1週間は、「全国学校給食週間」となっています。文部科学省のホームページには、「子供たちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、偏った栄養摂取、肥満傾向など、健康状態について懸念される点が多く見られる今日、**学校給食は子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。**」と記述されています。

また、白山市では、子どもたちの豊かな感性や健やかな体を育むため、「食育」を推進しています。「食育」では、食について学び、良好な食事の環境を整えることで、食べるだけでなく食の安全や自分の健康について興味関心を持つこと、望ましい生活習慣を維持し、豊かな食材を育む郷土の自然や人への感謝の気持ちを育むことが大切だとされています。

この期間、学校では給食で人気のメニューや様々なテーマ（能登応援・世界ジオパーク・白山市お誕生日）の献立を実施します。改めて、食や給食に関心を寄せ、その意義や関わる人々の思いに触れる等の機会としたいと考えています。動植物の命を頂いていること、食材を届けてくれていること、安全・安心な給食を作っていること等、多くの人たちの協力のもと給食が提供されています。**命を頂いている動植物や、生産・搬送・献立・調理に携わる人たちへの感謝の気持ちをもって食べることを、身につけさせていきたいものです。**

また、地震等によって避難生活を余儀なくされた人たちが、温かい食べ物を食べることができる喜びやありがたさを語る光景を、私たちは、報道を通して何度も目にしてきました。**温かい給食を食べることができるのは、決して当たり前ではないことにも気づき、今後みんなで感謝して給食を頂きます。**



「目標を決めて体を動かそう」 なわとび旬間

1月9日～23日までの3週間に「なわとび旬間」がありました。この期間、児童は体育の時間や休み時間等に短縄に取り組みました。カードを使うことで、各自が目標を意識して頑張っていました。

また、13日～30日までの3週間は体育の時間に大縄の「8の字とび」にも取り組みました。各グループ毎に3分間で跳ぶことができた回数の全校での累計で、30000回に挑戦しました。なんと、2週間で30000回を達成しました。30日までにどこまで記録が伸びるのか楽しみです。取組を通して、「できない自分、怖い自分、失敗する姿を見せたくない自分」をのりこえてできるようになった児童がいました。また、そのそばで「がんばれ」「今や」と声をかけた友だちや、その児童が跳べたことをクラスみんなで喜び合う姿、そしてそんな児童たちの姿に目を細める担任の姿があり、3学期の目標である「のりこえる」、学校教育目標の「みんなで前進」を感じられました。

